

## 院外処方箋における一部の疑義照会を省略する運用に関する合意書

\_\_\_\_\_ (以下「甲」という) と 公立阿伎留医療センター(以下「乙」という)は、院外処方箋における一部の疑義照会を省略する運用を定めるため、次のとおり合意書(以下「本合意書」という)を締結する。

### 第1条 (目的)

本合意書は、院外処方箋における一部の疑義照会を省略する運用についての合意内容を定めることを目的とする。

### 第2条 (内容)

別紙1に定める範囲に限り、甲から乙への疑義照会を不要とする。

但し、次の各号に該当する場合はこの限りではない。

- ① 麻薬または抗悪性腫瘍薬の処方に関すること
- ② 医師が処方箋上に「変更不可」のコメントを記載している場合

### 第3条 (患者への説明と同意)

処方の変更は患者が不利益を被らないよう、甲が患者に対し口頭又は文書にて説明し、患者から同意を得たうえで行う。甲は、患者の同意又は不同意の意思確認を行ったことについて調剤録及び薬歴簿に記録し、甲の規定に従い保管するものとする。

### 第4条 (処方変更の報告)

処方変更を行った場合、全ての事例について所定の専用用紙を用いて甲が乙に報告するものとする。  
薬剤部直通 FAX：042-558-8083 ※送信間違い防止のため、短縮ダイヤルの設定をしておくこと。

### 第5条 (有効期間)

本合意書の有効期間は2024年7月1日から2025年3月31日までとする。但し、甲乙どちらか一方からでも文書による合意解除の意思表示があった場合は、有効期間満了を待たずに終了するものとする。有効期間満了の1ヶ月前までに、甲乙共に文書による合意解除の意思表示をしない場合は、有効期間を自動的に1年間延長するものとし、以降も同様とする。

### 第6条 (別紙1の変更)

別紙1の変更は、事前に公立阿伎留医療センター・西多摩薬剤師会あきる野支部 薬薬連携会議にて協議し、公立阿伎留医療センター薬事委員会の承認後に変更する。別紙1の変更に伴う合意書の再締結は不要とする。

### 第7条 (説明会)

次の各号に該当する場合、甲は乙が開催する説明会に参加しなければならない。

- ① 合意書を締結する前
- ② 乙が必要と判断した場合

上記の合意の証として証書2通を作成し、甲乙記名押印の上、各1通を保有するものとする。

年 月 日

甲 薬局住所 \_\_\_\_\_  
薬局名 \_\_\_\_\_  
代表者 \_\_\_\_\_ 印

乙 東京都あきる野市引田 78-1  
公立阿伎留医療センター  
病院長 武井 正美 印

以下に定める範囲に限り、疑義照会を省略できる。

※患者への説明と同意が必須（自己負担額についても、必ず説明すること）

①麻薬または抗悪性腫瘍薬、②処方箋に「変更不可」のコメントがある場合は対象外。

処方変更後は、所定の用紙を用いて公立阿伎留医療センター薬剤部へFAXすること。

1. 同一製剤の銘柄変更 例) アムロジン錠2.5mg ➡ ノルバスク錠2.5mg ※薬剤により適応が異なる場合は変更不可
2. 規格の変更（薬剤の安定性や、アドヒアランス改善目的の変更） 例) ニフェジピンCR錠20mg 2錠 ➡ ニフェジピンCR錠40mg 1錠 チラーゼンS 50μg1.5錠 ➡ チラーゼンS 25μg1錠 + チラーゼンS 50μg1錠 ヒルドイドクリーム100g 1個 ➡ ヒルドイドクリーム25g 4本 ※規格により適応が異なる薬剤は変更不可
3. 内服薬の剤型変更 例) タケキャブ錠10mg ➡ タケキャブOD錠10mg レボフロキサシン細粒(250mg/2.5g) ➡ レボフロキサシン錠250mg ※用法が変わる場合は変更不可
4. 残薬調整のための日数短縮 例) マグミット錠330mg 6錠分3 90日分 ➡ 30日分 ※中止との判別が困難になるため、処方の削除は不可。1日分は調剤する必要あり。
5. 服用指示と処方日数が異なり、明らかに間違いとわかる場合の日数短縮 ※延長は不可 ・隔日、週1回などのコメントが記載されているにもかかわらず、処方日数が連日となっている場合 例) バクタ錠 0.5錠 分1 朝食後 (月・水・金) 28日分 (他剤28日分) ➡ 12日分 ・コメントの記載は無いが、週1回、月1回など、用法が固定されている薬剤の場合 例) ミノドロン酸Na錠50mg 1錠 分1 起床時 28日分 (他剤28日分) ➡ 1日分
6. 指定用法のある薬剤に対する用法変更 起床時・食直前・食直後など、添付文書で定められた用法への変更 例) アレンドロン酸Na錠35mg 1錠 分1 朝食後 週1回 4日分 ➡ 起床時
7. 一包化指示の変更 患者の要望があった場合、一包化または一包化しない調剤方法へ変更することができる。
8. 単剤の組み合わせから配合錠への変更 例) アジルバ20mg + アムロジン5mg ➡ ザクラス配合錠HD ※薬剤により適応が異なる場合は変更不可